

53. 地下を流れる川 川と人間編 7

藤縄克之著  
農山漁村文化協会(1989)  
B4版 p.39  
定価 2,100円



---

目次

はじめに  
自然がつくるおいしい水  
地下水は空からやってくる  
川と地下を行き来する水の流れ  
海の近くの地下水は塩からい  
地下水はむかしから暮らしに深くかかわってきた  
水田がなくなると地下水のようすが変わる  
大きな被害をもたらす地盤沈下  
地盤沈下は地下水が減ったために起きる  
人間のつくりだした物質が地下水を汚している  
地すべり災害も地下水が引き起こす  
地下のダムが水不足を救った  
地下は天然のマホウビン  
地下水の熱を利用する  
砂漠では地下水がとくに大切  
みんなで地下水を守ろう

---

紹介コメント

(社)農業土木学会が、1989年に創立60周年を迎えたことを機に川と人間との“まじわり”を、広く、深く、わかりやすく、体系的に紹介し伝えることを企画したものである。自然の中の人間シリーズ川と人間編と題し、河川や地下水のまつわる話を全10冊にまとめ、本書はそのうちの第7冊目にあたる。各ページにはイラストがメインであり、小学生～中学生の学習本として適している。